

お知らせ

平成16年度 岩手河川国道事務所の事業概要

平成16年3月30日

国土交通省東北地方整備局
岩手河川国道事務所

問い合わせ先

盛岡市上田四丁目49-1

(019) - 624 - 3131

副所長（河川） 小 関 賢 次（内線204）

副所長（道路） 新 田 定 雄（内線205）

事業対策官 米沢谷 誠悦（内線208）

平成15年9月13日から事務所の住所が「上田4丁目2-2」から「上田4丁目49-1」に変わりました。 その他電話番号等は変更ありません。

岩手河川国道事務所の本年度当初予算は約238億円（平成15年度当初約268億円：対前年度比0.89）、うち河川事業は約96億円、砂防事業は約8億円、道路事業費は約134億円をもって事業を推進します。

1) 予算総括

(単位：百万円)

区 分	平成15年度 当初予算 (a)	平成16年度 当初予算 (b)	伸率 b / a	事業箇所等
河川事業	11,691	9,561	0.82	北上川上流
砂防事業	808	799	0.99	八幡平山系
道路事業	14,261	13,431	0.94	4号, 46号 直轄権限代行: 106号都南川目道路
合 計	26,760	23,791	0.89	

2) 主要事業

- 【河川事業】
 - 一 閑遊水地事業
(衣川地区築堤・下之橋架替・JR東北本線衣川鉄道橋架替)
 - 砂鉄川緊急治水対策事業
(床上浸水対策特別緊急事業及び
河川災害復旧等関連緊急事業)
 - 紫波地区水辺プラザ環境整備事業
 - 北上川上流の管理区間における維持修繕・応急対策事業
- 【砂防事業】
 - 八幡平山系直轄火山砂防事業
- 【道路関係】
 - 4号平泉バイパス、花巻東バイパス、渋民バイパスほか5箇所の改築事業
 - 4号、46号の管理区間における維持修繕、雪寒対策事業
 - 北上市相去地区等における沿道環境改善事業
 - 一関大橋等の橋梁震災対策

「完成事業の概要」

^{さてつがわ}
“砂鉄川”^{さてつがわ} 床上浸水対策特別緊急事業 (別紙 - 3 参照 P.7)

[平成10年8月洪水による大規模な浸水被害を契機として着手した^{さてつがわ}砂鉄川床上浸水対策特別緊急事業については、左右岸の築堤及び道路付替・橋梁架替等を完成させ、事業の完成を図ります。また、直轄区間上流部の河川災害復旧等関連緊急事業区間については、右岸築堤を一連で概成させ、併せて橋梁整備を推進します。]

^{しわ}
“紫波地区水辺プラザ”^{しわ} 整備事業 (別紙 - 4 参照 P.8)

[紫波町の中心市街地整備事業と一体となった「開放的河川空間の創出」を図り、緩傾斜坂路や散策路、親水スロープ等の整備の完成を目指します。]

「継続事業の概要」

^{いちのせき}
“一関遊水地”^{ころもがわ} (衣川地区) 事業 (別紙 - 5 参照 P.9)

[平成14年7月洪水(台風6号)により、甚大な被害を受けた^{ころもがわ}衣川地区の治水安全度の向上を図るため、^{ころもがわ}支川衣川合流部から^{きたがみがわ}北側の北上川右岸において築堤に着手します。]

^{しものはし}
“下之橋”^{しものはし} 架替事業 (別紙 - 6 参照 P.10)

[^{いわいがわ}磐井川において、流下障害構造物及び老朽化の著しい既設橋(下之橋)の架け替えを、一関市と合併事業で行っています。平成16年度は上部工を完成させるとともに、^{いちのせき}右岸取付道路に着手し、一関市施工分の道路と調整して事業進捗を図ります。]

^{ころもがわ}
“JR東北本線衣川鉄道橋”^{ころもがわ} 架替事業

[^{ころもがわ}衣川において、洪水疎通能力が著しく不足しているJR東北本線^{ころもがわ}衣川鉄道橋の架け替えを推進します。]

^{さてつがわ}
“砂鉄川”^{さてつがわ} 緊急治水対策事業 (別紙 - 3 参照 P.7)

[^{さてつがわ}砂鉄川下流地区(床上浸水対策特別緊急事業区間)については、左右岸の築堤及び道路付替等を完成させます。また、上流地区(河川災害復旧等関連緊急事業区間)については、右岸築堤を一連で概成させ、併せて橋梁整備を推進します。]

「完成事業の概要」

はちまんたい

八幡平山系直轄火山砂防事業（別紙 - 7 参照 P.11）

[土石流危険箇所での災害弱者対策として“はしばあずまいさわ橋場安栖沢床固工群”を完成させます。]

「継続事業の概要」

はちまんたい

八幡平山系直轄火山砂防事業

いわてさん

ありねさわ

[岩手山火山防災対策“有根沢第2砂防えん堤”等の事業を継続実施します。]

別紙 - 1 (河川・砂防関係)

平成16年度 主要事業予定箇所図

八幡平山系砂防事業

- ・はしばあずまいさわ橋場安栖沢床固工群の完成
- ・ありねさわ有根沢第2砂防えん堤等の推進



水辺プラザ環境整備事業

- ・しわ紫波地区水辺プラザの完成

砂鉄川緊急治水対策事業

- ・床上浸水対策特別緊急事業の完成
- ・河川災害復旧等関連緊急事業の右岸築堤の概成・橋梁工事の推進

一関遊水地事業

- ・ころもがわ北上川右岸衣川地区河川改修事業の推進
- ・しものほし下之橋架替事業の推進
- ・ころもがわJR東北本線衣川鉄道橋架替事業の推進

「完成事業の概要」

国道4号“**花巻東バイパス**”改築事業（別紙 - 8 参照 P.12）

[交通混雑の緩和と、交通安全の確保を図るため、“花巻東バイパスと国道283号交差部から(主)花巻北上線まで”の部分供用を図ります。]

国道4号“**渋民バイパス**”改築事業（別紙 - 9 参照 P.13）

[交通混雑の緩和と、交通安全の確保を図るため、“国道4号と(県)渋民川又線交差部から(村)山屋馬場線まで”の部分供用を図ります。]

「継続事業の概要」

国道4道“**小鳥谷バイパス**”改築事業

[幅員狭小による交通混雑の緩和と急カーブの連続箇所の回避による交通安全の確保を図るため、小鳥谷バイパスの工事に着手します。]

国道46号“**館坂橋**”老朽橋対策

[交通の安全性・信頼性を確保するため、老朽化の著しい国道46号館坂橋の工事に着手します。]

国道4号“**平泉バイパス**”改築事業

[平成14年7月の台風6号により冠水した国道4号平泉町、及び衣川村において、災害に強い道路空間の確保、及び交通混雑の緩和と交通安全の確保を図るため、国道4号“平泉バイパス”の工事を推進します。]

維持修繕事業

[管理区間233km(国道4号196km、国道46号37km)において、道路の維持管理、路面補修、防災・震災対策等を実施し、道路の保全と道路交通の安全・円滑化を図ります。]

雪寒対策事業

[冬季交通の安全を図るため、管理区間の車道除雪・凍結抑制剤散布・通学路などの安全で快適な歩行者空間を確保するための歩道除雪を実施します。]

沿道環境改善事業（別紙 - 10 参照 P.14）

[道路沿線における騒音などの沿道環境を改善するため、国道4号“**北上市相去地区**”等において低騒音効果のある高機能舗装等を整備し、道路騒音の低減を図ります。]

橋梁震災対策（別紙 - 11 参照 P.15）

[近い将来高い確率で起こるとされている宮城県沖地震に備え、地震における橋梁施設被害を軽減するため、震災対策工事を実施します。]

別紙 - 2 (道路関係)

平成16年度 主要事業箇所図



事業名

さてつがわ
砂鉄川床上浸水対策特別緊急事業（岩手県川崎村）

事業概要

砂鉄川沿川は、ほとんどが無堤の低平地であり、北上川が氾濫すると背水の影響により多数の家屋浸水被害が発生する水害常習地帯です。
そのため、平成10年8月洪水を契機として砂鉄川下流地区で着手した「直轄床上浸水対策特別緊急事業（築堤延長7,530m）」、平成14年7月洪水を契機として砂鉄川上流地区で着手した「河川災害復旧等関連緊急事業（築堤延長4,600m）」を岩手県管理区間の災害関係事業と連携して推進してきました。このうち、下流部の床上浸水対策特別緊急事業について、平成16年度の事業完了を図ります。また、上流部の河川災害復旧等関連緊急事業（岩手県東山町・川崎村）については、平成16年度は右岸築堤を概成させるとともに、橋梁架け替えを推進します（平成17年度事業完了予定）。

事業効果

築堤が完成すれば、平成14年7月洪水で床上浸水した743戸及び床下浸水した222戸、529haの浸水被害が解消されます。

H14.7洪水浸水状況(下流地区)



H14.7洪水浸水状況(上流地区)



事業名

紫波地区水辺プラザ整備事業 (岩手県紫波町)

事業概要

北上川上流に位置する紫波町は、江戸時代には江戸への物資輸送のための港町として栄え、町の中心に位置する郡山城跡をはじめとし、歴史的価値の高い居住跡が町中に点在しており、古くから北上川と深い関わりがあります。

紫波地区水辺プラザは、中心市街地や多目的スポーツ施設へも近く、紫波町の中心市街地整備事業と一体となった「**開放的河川空間の創出**」を目的とし、人々への憩いと癒しを提供し多様な利用に応える、快適な水辺空間の創造を図るものです(平成16年度事業完了予定)。

東北地方整備局：親水スロープ、船着場、散策路、緩傾斜坂路
高水敷整正、管理用通路舗装

紫波町：トイレ、遊歩道、運動広場

事業効果

紫波町の歴史、文化に配慮した町づくりと調和した河川空間を創出することにより、親水空間利用の多様なニーズへの対応が図られます。



舟下りの舟揚げ風景

位置図



緩傾斜坂路

親水スロープ

船着場



舟揚げ後、高水敷でキャンプ



紫波町花火大会

事業名

一関遊水地事業（衣川地区）

（岩手県衣川村・前沢町）

事業概要

衣川地区は、現在無堤状態であるため、戦後3番目の大規模な洪水となった平成14年7月洪水（台風6号）では23戸の家屋の外水による浸水、また国道4号が通行止めになるなど、甚大な被害を被りました。

平成16年度は、衣川地区の治水安全度の向上を図るため、支川衣川合流部から北側の北上川右岸においてTP25.5m高での築堤に着手します。

- ・本川右岸築堤 L = 2,100 m

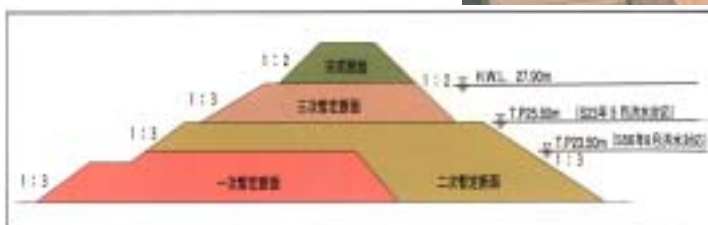
TP25.5mは、昭和23年9月洪水(アィ台風)規模の高さであり、衣川地区では、平成14年7月洪水 + 約1mの高さです。

事業効果

衣川地区の治水安全度の向上を図ります。



堤防標準断面図(狐禅寺地点)



高館橋から上流は1枚法で施工

事業名

しもの
下之橋架替事業

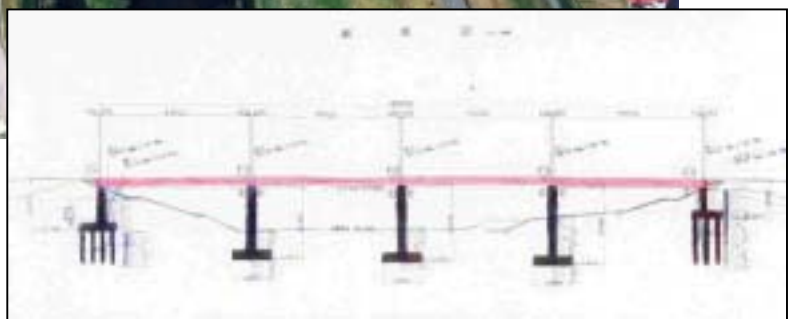
事業概要

いちのせき いわい
一関市を直接洪水から守る磐井川左右岸堤防については、平成13年度にHWL堤で周囲堤と一連の整備が概成していますが、現下之橋は流下阻害構造物（桁下高不足）であり、流下能力が不足している状態です。
平成16年度は、上部工を完成させるとともに右岸取付道路（高架橋下部工）に着手し架け替えを促進します。

事業効果

- ・ 流下阻害構造物となっている下之橋架替事業により、一関地区の治水安全度が飛躍的に向上するとともに、一関市と合併事業で行うことで、道路幅員の拡幅により交通渋滞等を解消します。

	現橋梁	新橋梁
橋長	187m	185m
幅員	4.5m	12.0m (車道3.5m×2、歩道2.5m×2)



事業名	八幡平山系直轄火山砂防事業の推進 (災害弱者対策)
事業概要	<p>土石流の危険性が高い渓流での災害弱者対策として、雫石町橋場安栖沢において、砂防施設の整備を推進します。</p> <p>平成15年度においては、床固工2基を整備し、平成16年度予算において、水路工を整備し橋場安栖沢床固工群を完成させます。</p>
事業効果	<p>・土石流の危険性が高い渓流での災害弱者対策として、雫石町橋場保育園を土砂災害から防ぐ目的で、橋場安栖沢に床固工群を整備します。</p> <p>また、当該砂防施設は間伐材を使用した残存型枠等を積極的に用い、周囲の景観との調和を図るとともに間伐を促進し森林の保全を図ります。</p>

橋場安栖沢床固工群
新規



完成イメージ



事業名

国道4号 花巻東バイパス

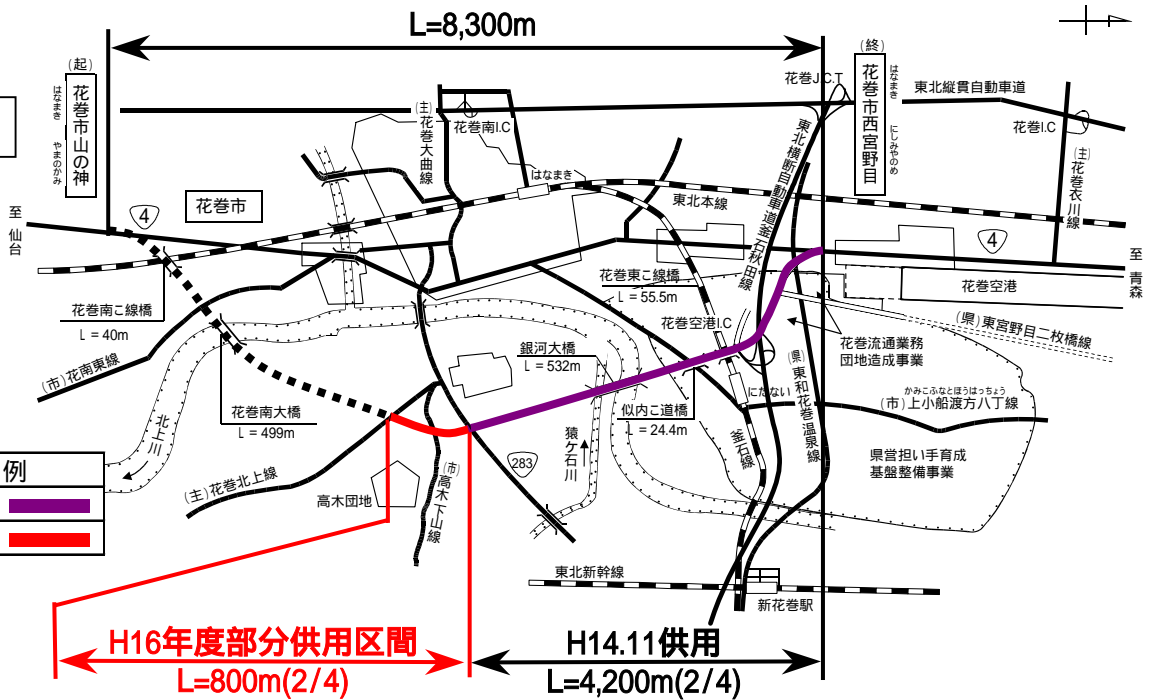
事業概要

花巻東バイパスは、国道4号花巻市内の交通混雑の緩和、東北横断自動車道釜石秋田線花巻空港 C及び花巻空港、花巻流通業務団地へのアクセス性の向上を目的とした、岩手県花巻市山の神から同市西宮野目に至る延長8,300mの4車線道路です。
 平成14年度までに、国道283号から終点(国道4号)までの延長4,200mについて、暫定2車線で供用しています。
 平成16年度は、引き続き国道283号から(主)花巻北上線までの延長800mについて、暫定2車線で部分供用を目指します。

事業効果

・高速道路と一体となった、空港・流通業務団地へのアクセス道路の整備により、人流・物流の効率化が図られます。

位置図



現況

花巻市内の混雑状況



花巻東バイパスを上空から望む



事業名

国道4号 渋民バイパス

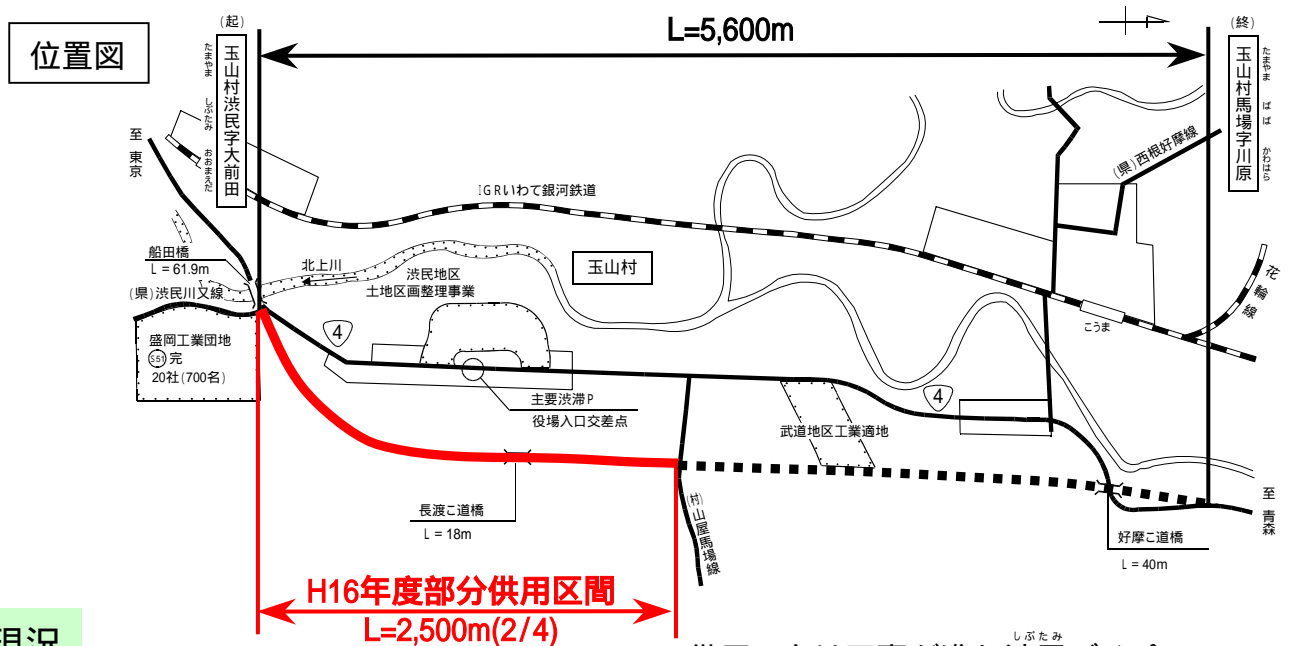
事業概要

渋民バイパスは、国道4号の岩手県玉山村内の交通混雑の緩和及び交通安全の確保、沿道環境の改善を目的とした、岩手県岩手郡玉山村渋民字大前田から同村馬場字川原に至る延長5,600mの4車線道路です。

平成16年度は、起点から(村)山屋馬場線までの延長2,500mについて、暫定2車線で部分供用を目指します。

事業効果

・渋民バイパスの整備により、玉山村内の交通混雑の緩和、交通安全の確保、沿道環境の改善が期待されます。



現況

玉山村内の混雑状況



供用に向け工事が進む渋民バイパス



渋民バイパスの部分供用により、主要渋滞ポイントである役場入口交差点の交通混雑が緩和されます。

事業名

沿道環境改善事業

事業概要

沿道環境改善事業は、沿線における騒音などの道路環境を改善することを目的に、舗装の表層部分に空隙率の高いアスファルト舗装を施工することにより、道路騒音の低減を図ります。

平成16年度は、国道4号 きたかみ あいさり 北上市相去地区等において、騒音緩和のため高機能舗装（排水性舗装）を行う予定です。

事業効果

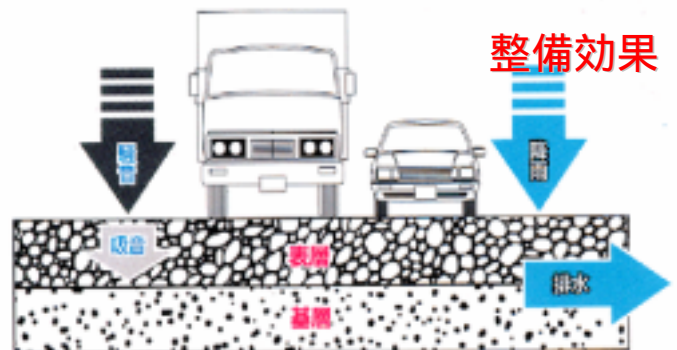
きたかみ あいさり 北上市相去地区は、交通量の増大や車輛の大型化等に伴う騒音等により、劣悪な道路沿道環境となっていることから、高機能舗装（排水性舗装）を行う予定です。

整備前

きたかみ あいさり
北上市相去地区



整備後(イメージ図)



騒音の減少により道路沿道環境の改善、雨天時の視認性の向上を図ります。

事業名

橋梁震災対策

事業概要

橋梁の耐震性向上を目指し、近い将来高い確率で起こるとされている宮城県沖地震に備え、一般国道4号 一関市内の一関大橋等について、地震における施設被害とその影響を軽減するため、震災対策工事を実施します。

事業効果

・安全で安心できる（震災に強い安全な）地域づくりの向上を図ります。

一般国道4号 一関市内の「一関大橋」は昭和51年に磐井川に架橋された延長252.2mの長大橋梁であり、近年の交通量の増加・通行車輛の大型化による損傷が進行していることから、震災対策と併せて橋梁補修を行います。



一般国道4号 一関大橋現況写真



橋梁震災対策（落橋防止装置）の設置例